

令和7年いわて復興ウォッチャー調査 自由記載集

I 被災者の生活の回復に関する実感

生活の回復度及び1年間の進捗状況についての回答区分により、自由記載欄の記載内容を取りまとめると以下のとおりであった。

区分	職業・所属等	地域	年齢別	性別	自由記載(理由)
回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	・住居などハード面での回復は済んでいる。 ・転居の発生によりコミュニティには変化が生じたが生活の回復という点では、「回復した」といえる。
回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	震災からの再建は既に完了しており、今後については人口減少への対応にもっと目を向けるべきだと思う。
回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	60歳以上	男	地域経済は回復したと思う。若い人(子供)が少ない状況に不安を感じる。
回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	60歳以上	男	震災後13年以上が経過し、被災者の生活もほぼ回復したと感じる。
回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	50歳代	女	被災を理由に生活していくのが大変な人がまだいらっしやるのかなと思う。大変な理由は他にある人の話は聞かぬ。
回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	女	津波の後の感じが、少しも感じられなくなっている。
回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	50歳代	男	建物や街並は復興した様に感じる。
回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	50歳代	男	うちの地区の場合、住民の方ほぼ全員(世帯)生活水準は別として、衣食住を確立しているようなので自立できていると思う。ただ、震災後に起きている台風等の自然災害や新型コロナウイルスの影響で雇用契約解除・廃業の急増だったり、病気や高齢で亡くなられた方もおり、人口の流出・減少の一途をたどっているようだ。
回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	東日本大震災津波によって養殖漁家は漁船及び養殖施設すべて消失した。よって廃業した漁家以外の残った(再興)は現在営みの各漁業施設も全て復興生業を営んでおり、順調に仕事に営んでいる。
回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	気仙町今泉地区の復興が陸前高田市では最後と思った。そのためか、内陸の方に移転した方々が多くなったと思う。
回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	運動会やお祭りが開催され、地域行事も再開されコミュニティ活動が元に戻りつつある。
回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	50歳代	女	公営住宅に一般入居(被災者以外)が増えている。環境は整っているがコミュニティについては今後の課題と感じる。
回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	39歳以下	女	被災者と言わなくなった。また、再建以外にも新しくお店を出す人が増えたように感じる。
回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	女	多くの皆様からの暖かいご支援を頂き、皆さんと手を取り合って前へ進んで来て、今の生活があると思いきや有難い感謝を致している。同じ境遇の皆さんと励ましあって一生懸命歩いて来た。今のホットな生活がなによりである。
回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	震災から13年が経過し、災害公営住宅での生活にもなれ、又地域住民との接触も多くなり、震災前の生活に戻りつつあると感じられる。
回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	60歳以上	男	野田村防潮堤の完成、野田村被災住宅移転、久慈市宇部町地区と野田村新山地区80haの基盤整備事業の完成。
回復した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	女	・住宅再建が行われ店舗等も増えてきている。 ・被災地後に来た施設を利用したイベント等も行われにぎわいが出てきている。(市民の参加) ・落ち着いた生活を取り戻している。
回復した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	女	震災の被害の復旧は概ね済んだと思う。ハード面が整い日々の生活も回復が図られていると感じる。その一方で、少子高齢化、若い世代の流出等、今後の課題も見えてきている...
回復した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	男	当時と比べると復興住宅もなくなり、ほぼ住環境は被災前と同程度になったように感じる。
回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	50歳代	男	新しい戸建て住宅が増えた。
回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	40歳代	男	インフラはほぼ復旧し交通網は大きく改善されたと感じる。被災地の状況を正確に伝え、継続的な感心を呼びかけることが大事だと思う。
回復した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	60歳以上	女	全体としては、住宅、インフラ等のハード面は回復し、落ち着いて生活しているように思える。前回からの進み具合となると、よく分からない。(前回も回復したと感じたので)※被災者によっては、雇用先がなくなるなど、人によって異なるので。
回復した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	男	既に5-6年前には生活は回復できていると思う。社会情勢により生活が大変にはなっているが、震災が起因しているとは言えない。住環境や雇用については、回復している。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	・ハード面はほとんど回復している感じがある。 ・水産関係では不漁や魚種の変化、水温上昇の影響もあり漁業者は厳しい状況にいる方もいるように思う。 ・コロナ禍の影響から少しづつ回復している感じはするが、物価高に対し賃金の上昇は鈍い感じがする。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	50歳代	男	住環境の整備と定着に向けた時間の一定推移をとったこと。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	23年前くらいから、気仙町は住宅も増えず店舗等もない状態である。震災前の人口にも、家も増えないので、進捗状況はどう書けばいいのかわからない。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	女	家の再建をする方々も落ち着き、多くの方は少しずつ前の生活に戻りつつある様に感じる。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	60歳以上	男	あいている土地が多い。コンビニ1店でほかに店がない。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	60歳以上	男	被災者の住環境はととのったと思う。この一年はあまり変化ない。

区分	職業・所属等	地域	年齢別	性別	自由記載(理由)
やや回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	60歳以上	男	特に何も無い様に見えるから生活は落ち着いた様に思える。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	60歳以上	男	・近隣の方々は高齢者が殆どとなった。 ・農地は災害復旧支援事業にて、従来通り活用事業継続されている。 ・上記の支援農機が耐用年数経過、経年劣化し、メンテナンスに多額の費用が事業継続に支障をきたしている。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	表面的には進んでいる様に見える。
やや回復した	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	男	被災前の職業を再開している様子を見て、被災者の方が周囲におらず判断しかねる。
やや回復した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	男	被災者の生活についてはある程度回復が見られるものの、コロナ禍と物価高による生活苦が追い打ちを掛けているようで、被災前には至っていない。
やや回復した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	男	日々の生活は回復している。地域社会が失われてしまった面は新しい形でも再生されていない所が多い。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	男	・被災地に住む方の生活面は向上していると感じる。 ・公営住宅の空き家、住宅地の空き地の改善等が問題となるのではないかと。
やや回復した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	40歳代	女	住環境は整備されたと感じる。被災地域の方々が中心となって、イベントを開催する等、活気も戻りつつある。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	震災後に回復した生活が他の要因(コロナ、物価高騰等)により逆戻りしている部分もあり震災前後での単純比較は難しい。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	大槌町に居住し3か月。空地が多く、今後も住居が建つ様子がない。働く場が少なく、若年層の流出が顕著。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	道路や事業所、住宅などハード面での整備はほとんど完了していると感じる。復興需要も収束し街づくりも目新しい動きはなく、人口減少だけが進んでいる。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	50歳代	男	ハード面での災害に強い安全なまちづくりは概ね完了しており、直近1年間でほぼ進捗はないと感じる。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	60歳以上	女	被災者、被害のない者、高齢者の格差があり、裕福な暮らしを被災者がし、被害の無い高齢者が低所得や不利益な生活だったりしているため。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	13年経ったがいまだ空地が多い。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	被災した方々の住環境の再建は完了したように思われる。一方、雇用の創出は遅々として進まず、雇用の場が減少したまま回復の見通しが不明のため、労働人口の域外への流出が常態化しており、自然現象と相俟って地区の人口は2,500人台まで減少し震災前の56%になっている。 地区の基幹産業である漁業は水揚げ魚種の変化と数量の不振から経営不振が続き、少子高齢化と地元購買力の流出と消費行動の変化により商業、サービス業、建築業等の業績は悪化し、先の見えない状況が続くと思われる。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	生活の回復は実感として安定していると思われるが震災前に比べ地域内での交流が無くなり個々の生活で生活の様式が変わった。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	ここ1年に関しては、諸物価が上がっていると思うが、震災とは関係なくなっている。但し福島原発事故が遠因となっていることは別。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	60歳以上	女	物価の高騰などまだ回復しきれないこの地域に重くのしかかっている。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	生活は回復したが、少子高齢化がいちじるしく進んでいる様感じる。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸北部	40歳代	女	東日本大震災についての記憶が私も薄れてきている気がする。教員をやっている5-6年担任の時は、総合的な学習の時間に震災学習を毎年行ってきた。若い先生方は、まだ学生だったようで、震災の事について知らないもよう。また、内陸出身と沿岸出身の方との意識の差は大きい。児童よりも教員同士での震災学習は必要だと思う。野田村を見ると、いろいろな取り組み(震災プログラム)があり、復興が少しずつ進んでいるように感じる。震災の記憶を風化させないのももちろん大切だが、前に進もうとする現実を受け止め復興を意識することが大切だと感じる。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	男	被災前に戻っていることが多いのは事実だが、最近のとなると具体的なイメージがない。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	女	被災からはだいぶ回復したと思うが、その後の生活は物価の高騰などで14年前より苦しくなっている方々がいるように見える。又、再建のための借金返済が始まり、大変そうだ。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸南部	40歳代	女	被災された方々の雇用問題は数年前に落ち着いた様に感じるが、それ以外の要因で職を失ったり困窮しているご家庭が増えているように思う。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	男	空き地がたくさんあり、整備もされているが、その土地の活用がこの一年間変化がない。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	男	○三陸道路の全面開通により利便性が向上した。 △岩泉町は平成28年の台風10号被災等の台風被害による被災があり、また新型コロナウイルス感染症による影響もあったことから「回復した」とまでは言えないと感じる。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	女	自分としては回復したと感じているが、周囲(被災した方々)と話すこともないので、皆さんがどのように感じているかわからない。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	男	新たな建物、商店、販売に期待しながら生活していた。最近閉店、撤退に伴い更地や駐車場が目立ってきたように思う。人口減では活気減へと進んでいる様だ。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	男	近所の人々の生活は、震災前と同じくらいの平穏な生活をしていると思う。但し、仕事上で入学してくる生徒の家庭状況でまだ震災に関しての被害があるように思うことがあった。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	50歳代	男	新しい雇用が生まれていない様に感じる。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	女	震災から10年経過して、震災直後5.6年くらいまでは回復されているのが分かったが、今はあまり変化はなく、同じではないかと思う。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	50歳代	男	ある程度の生活の回復は進んでおり新たな変化は感じられない。

区分	職業・所属等	地域	年齢別	性別	自由記載(理由)
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸北部	40歳代	女	震災から年数経過したことで、一度は回復していたことが(加齢などで)再度問題になっていることがある。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸北部	40歳代	女	震災前に戻ったというよりは、被災後の状況に合わせてそれなりの生活になっている。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	女	小売業や水産加工、娯楽などの職種で倒産したり店をたたむところが多く職を失う人がでてきた。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	女	回復したあと、被災とは別の地域課題が起こり、生活に安定感があるとは思えない。物価高、人口減少、少子高齢化など。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	60歳以上	男	住宅再建が完了して、生活は落ち着いているが、イベント等は減っており以前とは違っている。また、住宅ローンのある人が多く生活は苦しい。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	50歳代	男	被災者も一般の方もほとんど変わらない生活だと思う。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	60歳以上	男	住環境は殆ど回復したように思う。ただ震災の影響かどうかは分からないが比較的若い年代で亡くなる方や、病気がちの方もあり、日常生活でも特に心の面では充分回復しているとは云い難いと思う。一年間の進捗状況に限ってみれば、全く変化がないと思う。
あまり回復していない	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	50歳代	男	三陸沿岸道路の全線開通により利便性が向上した一方で、市内への回遊が少ないと感じる。
あまり回復していない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	復興工事が完了し、公共工事が無くなり土木工事関係者は生活できなくなっている。
あまり回復していない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	女	変化もなく落ち着いた生活をしている。
あまり回復していない	教育・福祉施設関連	沿岸南部	40歳代	男	新しいコミュニティ形成が必要と思われるが、取り組みが不十分。
わからない	教育・福祉施設関連	沿岸北部	60歳以上	女	周囲に被災した人(知人)が居ないので、よく分からない。
わからない	教育・福祉施設関連	沿岸北部	60歳以上	男	世の中、物価が高騰しており、被災者でない方々も生活が大変なのに、被災者の方々は公営住宅に住んでいる方、住宅を再建した方がいるわけで、特にも住宅を再建した方々は預貯金を住宅建築に向けたので、現在は生活費にも余裕がある方々は多くないのではないかと思います。つまり、進捗状況は分からないということ。

II 地域経済の回復に関する実感

地域経済の回復度及び1年間の進捗状況についての回答区分により、自由記載欄の記載内容を取りまとめると以下のとおりであった。

区分	職業・所属等	地域	年齢別	性別	自由記載(理由)
回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	60歳以上	男	地域経済は回復したと思う。しかし、物価の上昇は大きな問題となった。
回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	女	一年前と何も変わらず終わった(工事など)と思っている。
回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	震災後再開した漁家は震災前より廃業された漁家の区画漁業権は緩和され経営規模も増え、少数ではあるが漁業後継者を育て経営にあたっている。
回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	・農業について、震災前は農家の方々が集まって農産物に付加価値つける為の研修をしていたが今は集まりが無い。 ・漁業について、海水温が高水温になり貝(カキ、ホタテ、エゾシカゲ貝)がへい死するなど漁業経営が困難になっている。養殖漁業に対する支援が必要と思われる。早急に。
回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	女	震災後多くみられたダンプも、今は通ることがなく落ち着いた毎日を送っている。
回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	60歳以上	男	震災以降若者の人口流出の影響が大きく高齢者で地域経済を何とか保っている状態に見える。農業は耕作放棄地が目に見えて増加中、漁業は従事者の減少(漁業組合員の減少)個人商店の閉店が増えている。ただし、震災の影響とは思わず時の流れと思う。
回復した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	女	・国際コンテナ定期航路の新設。 ・釜石港と国内外のつながりの拡大。 ・釜石市内での大型養鶏場の完成。 ・大型商業施設を中心とした周囲の店舗の増加等 ・一部ではあるが市の広報紙やニュース等で見聞きした範囲で考えると少しずつ回復してきていると思われる。
回復した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	女	地域経済等は確実に回復してきたと思う。まだまだ難しい部分(物価高・景気の悪化等)はあるが、それぞれの分野で知恵を出し合い、地域経済の活性化に寄与していると感じる。
回復した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	男	人口減少に伴い、担い手不足は悪化していると思うが、地域経済を被災前と比べると、既に回復していると思う。
回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	40歳代	男	自分は水産業である。再生回復の先へ進みませんか？設備投資への補助の拡大をお願いしたい。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	・人口減少によるマーケットや事業者の減少も見込まれる部分はあるものの交流人口は増加傾向にあると思われる。 ・資材、燃料、人件費などの高騰が全国的にみられるが、被災前と比べると回復しているように感じる。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	2年ほど前に仕事を辞めた(建設業)。仕事がない状態でもあるし、年も年だったから。全体的に仕事量は減っているようだ。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	50歳代	女	温暖化により、漁獲高が減り景気は良くない。ガソリンの高騰により、生活は厳しいと思われる。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	60歳以上	男	水産業では不漁がつづいて、アワビの水揚げはへり、ホタテなど貝は貝毒で大変だ。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	60歳以上	男	三陸復興道路の完成
やや回復した	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	男	店舗の再開、漁業関係の様子を見るとやや回復しているように感じる。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	男	・水産業では不漁による収入減と、燃料費の上昇で大変だ。 ・農林業では若い人の成り手が少なく高齢化が深刻。どちらも安定して生活できる収入が得られないと定職につながらないので、その仕組みを考えてほしい。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	40歳代	男	外部からの支援に頼らず、地域が自立して発展するためには、雇用創出が大事。人材育成・専門技能の習得や経営者の育成など人材育成の長期的な支援が必要だと思う。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	39歳以下	男	新たな施設やこれからの経由を説明後からの計画と進んでいる事が感じている。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	コロナ、復興関連工事終息、漁獲量減少、物価高騰、人口減少により業種によって違いがある。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	復興特需は既に終息しており、建設業界中心に経営が苦しい先が増加している。嵩上げ地への店舗の移転が進まず、更地が目立つ状況は変わらない。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	50歳代	女	好調だ、順調だという事業所の声が聞こえない。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	50歳代	男	どちらとも言えないに〇をつけたのは地域経済の低迷が震災によるものではないから。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	女	サケ等の不漁、物価高により生活が安定してない。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	今は、震災の影響という言葉は使われなくなった。地球温暖化とか、他国の戦争の影響と言われるようになってきていると思う。コロナの影響がいいと、商売をしている方々には残っている様だ。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	39歳以下	女	毎年販売する商工会で出しているプレミアム付商品券があるが、早い段階で売り切れたと聞いた。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	一般的に見て地域経済は回復しつつあると思われるが、水産業の不漁、高齢化が心配の要因であると思われる。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	50歳代	男	人口減少で進んでいない。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	少子高齢化による人手不足を感じる。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	60歳以上	男	地域経済は被災前と比べると回復若しくは良くなった。ただ、1年間の進捗については温暖化による高温による雑草の草刈りの回数増加や作物の不良、黒潮による海水温の変化で魚種の不良。養殖物の死滅、生育不良など、経済は不安定になってきた。

区分	職業・所属等	地域	年齢別	性別	自由記載(理由)
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	60歳以上	男	農地の再生は回復してきたものの、後継者が継がず地域外の親戚・友人等にて耕作される。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸北部	60歳以上	女	県が支援に力を入れているのは分かるが、コロナ禍、ウクライナや中東情勢、温暖化等々、様々な要因による景気悪化がある。また、それとは別に地域商店街では、経営者の高齢化と後継者不足で閉店する店が殆どで、シャッター街化している。かつて、賑やかだった情景を思い出すと、寂しい限り。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	女	再建できる力のある店や企業などは回復していると思うが、震災後あきらめた人たちが多くいるので何ともいえない。又、漁業に関しては海水温の上昇等で収穫できず、経済的に苦しんでいる人たちがいる。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	男	震災後の再建に取り組むエネルギーが大きく、補助金などの支援もあり、経済的にも成長できたと思うが、人口流出や少子化により、人口が減少し、フェリーの休航や企業の倒産などもあり、すべてが一様に回復したとは言い切れる状況ではないと思う。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	男	特に夕方～夜にかけて人の往来がない。活気を感じない。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	男	○三陸沿岸道路の開通により物流や人的交流が活発になり地域経済の向上に繋がっていると感じる。 ○着実に復興が進み、水産業等の再生が図られていると感じる。 △近年サケの不漁が地域に与える影響は大きく、加えて物価高が続いていることから、地域経済が順調に回復しているとは言い難い。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	女	様々な点で県や多方面からの支援はあると思うが、地域経済の回復につながっているかはわからない。被災したことによる低迷だけではないと思う。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	男	新しい施設や商店が出来ているが、経済の落ち込みは続いている。ただ震災の影響とはいえない面が大きい。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	男	各事業所へのシステム構築。整備や金融等の支援がどのような形、流れて地域経済の回復に繋がるか、分かりづらい。地域経済が回復していれば、前問の記述内容にはならないと思う。回復しているのは個人や一部なのかも。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	男	震災復興の工事などが終了したため、仕事が無くなったという話を聞くことがあった。しかし、震災前の地域経済が回復したとは考えにくい。経済が低下しているのは、人口減少によるものか、少子高齢化問題によるものか、そして震災によるものか、あまりよく分からない。様々な要因が重なってあまり回復してないのではないかなと思う。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	50歳代	男	各イベントやお祭り等の集客が県内、外から多くみられた。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	50歳代	男	回復とは言えないと思う。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	女	震災復興から10年以上経過し、時間とともに回復はされたが、コロナ禍や物価高の影響により悪くなっていると思う。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	50歳代	男	新たな変化は感じられないぐらい地域経済は震災前と比べある程度回復していると思う。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	女	前の質問のとおり、店をたたんだり倒産する会社もできて、震災のときのいきおいは感じられない。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	女	人件費がどんどん高くなって、地域の小さな規模の事業主は経営が立ちゆきならない。店がどんどんつぶれていくのが目に見えて地域住民に不安感がつのる。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	60歳以上	男	地域の基幹産業である水産業が気候変動や福島原発の放流水の影響で振るわず生活が苦しい人が多い。ウニ、アワビとも漁獲高は減少し、単価は半分近くなり大変。また、サケはほとんどとれなくなっている。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	60歳以上	男	表面上は震災の影響をあまり感じる事がなくらい回復しているようには思うが、全体的には震災以前に比べて落ち込んでいるように思う。一年間の進捗状況に限ってみれば、全く変化がないと思う。
あまり回復していない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	復興事業が終了し、総じて経済環境が悪化している。元気な会社は地域内での商売を縮小し仙台・東京を見ている。
あまり回復していない	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	50歳代	男	東日本大震災の影響による地域経済は回復しているが、別の要因(人口減少・コロナ・物価高)による地域経済等の停滞、減退は感じられる。
あまり回復していない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	60歳以上	男	昨年と比較し、地域のコネクター・金型などの製造業については回復傾向にあるが、労働者不足が課題となっている。漁業ではサンマ・サケ・イカ・アワビなどの不漁に加え、福島原発処理水放出に伴う、海外の水産物の輸入規制など、水産業を取り巻く環境は厳しいものがあると感じる。
あまり回復していない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	50歳代	男	サケの漁獲量も低調の様ですし、東京電力福島発電所の件もあり、これから先三陸沿岸の水産業に不安を感じてたので、1年位前から漁業関係者との取引を慎重に行うようにしていた。
あまり回復していない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	サンマ、スルメ、サケ不漁。商店街が電柱が無くなって道路が広くなったがシャッター店が多くなった。
あまり回復していない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	地域内の経済は人口減少、高齢化によって活気がない。この状態が続くと将来どうなるか心配である。
あまり回復していない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	不漁や養殖の不振により水産業が落ち込んでいる為地域経済はふるわない。更に福島原発処理水海洋放出のために輸出が滞り、不況が続いている。
あまり回復していない	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	60歳以上	女	土地の活用がされていないのがもったいないと思う。米が不足していたり野菜が高い、木材も高いと言われているが、きっとエネルギーも土地を活用すれば少しはよくなると思うが、実際どうすればいいのか分かりません。
あまり回復していない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	60歳以上	男	人がいない。人口が増えない。
あまり回復していない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	女	仕事がない！！物価高で生活が出来ない！！
あまり回復していない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	年々若い人が地域に仕事がなく地元から出て行っている。漁業、農業ともあまり元気が無い様に見える。

区分	職業・所属等	地域	年齢別	性別	自由記載(理由)
あまり回復していない	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	男	コロナ禍での消費の落ち込みで急に下がり、その後、徐々に回復したものの、物価高となり家計が苦しい家庭が増えてきている。給食費等の支払いを遅延することが増えてきた。
あまり回復していない	教育・福祉施設関連	沿岸南部	40歳代	男	物価は上がっているが、収入は変わらない方が多く家計のやりくりで苦労している方が増えており、回復が進んでいると言えない。
あまり回復していない	教育・福祉施設関連	沿岸北部	40歳代	女	震災直後より人口が減り悪化している部分もあるのでは(特に飲食業)
あまり回復していない	教育・福祉施設関連	沿岸北部	40歳代	女	震災という訳ではなく、物価の上昇がすごすぎて買い物控えをしてしまう。
あまり回復していない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	男	コロナ後の景気回復の遅れやグループ補助企業の倒産などから。
あまり回復していない	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	50歳代	男	・被災前を良く覚えてない。比べる事が難しいと感じる。 ・物価高を顕著に感じる。
回復していない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	ただし現在の状況は震災を理由とした悪化ではない。震災からの回復途上に、コロナによる経済活動の低下や、その後の円安、燃料費の高騰、復興工事の終了、主要魚種の不漁など、複合的要因が重なって継続してきたためである。少子化による人口減少も要因であり、「震災」を目的とした支援ではなく、総合的な目的での支援が必要である。
回復していない	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	50歳代	男	・当地区は建設業が多く、三陸沿岸道の全線開通により復興事業等の公共事業の激減により各企業の体力が疲弊している。 ・浮体式洋上風力発電事業の実現が当地区のみならず、沿岸地域をはじめとする県内経済の活性化に資すると考える。
回復していない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	復興需要の終息による関係者人口の流出、コロナ感染症、気候変動による海水温上昇の影響で海産物の不漁などマイナス要素が多岐にわたる。
回復していない	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	50歳代	男	震災支援(G補助金や流通販路、原発影響による風評継続)が現在環境(コロナ、漁業不振、不漁)に対応できていない。当時の「しくみ」で判断、運用していることから、環境の変化に支援企業が対応しづらい状況を作り出している。G補助金事業者が環境変化に対応できる経営力、行動力を持ってあたるよう柔軟な相談受付と対応が必要である。早急に。震災対応で行った投資やハード面が経営環境の変化に合わなくなった場合、その企業はただただ体力を消耗している状況を変えなければ地域経済の自立した回復はない。
回復していない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	60歳以上	女	一時的な回復で現在停滞しており、仕事就業率の低さは変わらない。むしろ、被災による一時的な仕事の増加後の仕事の減少、無職・倒産等が見受けられる。
回復していない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	震災後13年が経過した現在、地域人口の大幅な減少や基幹産業である水産業の不振が地域経済を停滞・弱体化させており、回復の見込みは少ないように思われる。
回復していない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	60歳以上	男	環境が凄いい勢いで変わって先が見えなくなってきた。これからの若い世代が生き残れるか心配。
回復していない	教育・福祉施設関連	沿岸南部	40歳代	女	活発な経済活動を感じる事がほとんどない。商業施設内も空き店舗が増えたり品数が少なくなったりする。
回復していない	教育・福祉施設関連	沿岸南部	40歳代	女	水産業は依然厳しい状況。新しい店がオープンする一方で、閉める店も多数あった。
わからない	教育・福祉施設関連	沿岸北部	40歳代	女	地球温暖化のせいなのかかわからないが、久慈市の水産業の漁獲量が減っているもよう。震災だけでなく様々な関連があると思うが、地域経済は回復には至っていないように見える。
わからない	教育・福祉施設関連	沿岸南部	60歳以上	女	日頃、大型商業施設では、賑わいがあるが、閑散としている地区もある。被災というくくりを越えて、他の要因も加わっていることから分からないとした。※日本経済、地球温暖化、戦争、人口減少(少子高齢化)などなど。
わからない	教育・福祉施設関連	沿岸北部	60歳以上	男	全国的に地域経済は厳しいと思う。県の今の支援があってもどうなのか分からない。

Ⅲ 災害に強い安全なまちづくりに対する実感

災害に強い安全なまちづくりの達成度及び1年間の進捗状況についての回答区分により、自由記載欄の記載内容を取りまとめると以下のとおりであった。

区分	職業・所属等	地域	年齢別	性別	自由記載(理由)
達成した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	ハード面では終えた感がある。今後は時間の経過による意識の低下への対策や、警報発令時にいかに避難させるかの対策をしていくべきである。
達成した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	・ハード面での防災整備はおおむね完了したものと感じる。 ・今後は如何に防災の大切さを後進に伝えていくかが重要である。
達成した	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	50歳代	男	震災から13年経過し、ハード面では防潮堤などの整備は完了しているが、今後大きな震災が起きた時に、今のもので防ぎきれぬかは誰も分からない事だと思う。ソフト面では年数が経つにつれて、住民の意識が薄れていく懸念があり、安全確保の機運を継続していく必要がある。
達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	災害に強いまちづくりという事で各自治体は沿岸線すべての地区で高い防潮堤を築いたが、減災に役立つと思うかたや自然環境の影響が大きいと思われ、今後年数を増やすことに海の影響がでる養殖業の水産物への影響が懸念される。
達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	防災に関しては、これ以上の進展は望めないで、達成したということである。
達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	ハード面は達成した。しかしソフト面は反対に弱くなっている。
達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	39歳以下	女	高校生による震災学習列車での学びや津波伝承館への訪問、津波碑をバスで巡るガイドツアーの開催。安全なまちづくりに対する学習をしっかりとしていると感じる。
達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	女	防潮堤が出来上がり安心して暮らしが出来ると思う。海が見えない事が何か不安を感じるが。
達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	1.防潮堤の完成 2.2線堤としての県道の嵩上げの整備されたこと 3.水門の整備
達成した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	女	・水門、防潮堤の整備、運用 ・ハザードマップの公開、市内全世帯への配付 ・避難訓練の実施(市内全域の住民) ・市や県の防災に関する出前講座(市民、小中高生対象) ・防災士の養成、組織づくり ・「釜石防災市民憲章」の市民への浸透 ・学校教育を中心に進めている防災教育の充実(「釜石市防災教育の手引き」活用) 一部ではありますが、以上の様なことが行われているため進んでいると思う。
達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	男	震災前よりも災害に強いまちづくりは進んでいる。しかし、予期せぬ災害が毎年発生しているので避難の適切な仕方を理解し、命を守る行動を全員ができるように広報活動、避難訓練が必要だ。
達成した	教育・福祉施設関連	沿岸北部	60歳以上	男	ハード面は達成したいと思うが、住んでいる人が少ない。復興とは直接関係ないと思うが、生まれて来る子供は少なく、亡くなる高齢者が多い。人口減少になっている。
達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	女	避難訓練への参加者が徐々に増えてきた。助け合いの精神がお互いに感じられる日常生活が定着。
やや達成した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	ハード面はほぼ完了しているほか、浸水区域の周知も図られている。
やや達成した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	・内陸に比べると津波や防災に対する意識が高いと感じる。 ・津波対策や交通の整備は進んでおり、安全面でも充実している感じがある。
やや達成した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	ハード面は達成したと感じる。住民意識も高いと感じる。
やや達成した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	60歳以上	男	ハード面は達成したと思う。
やや達成した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	60歳以上	男	一部を除いてほとんどの復興工事は終了しているが、住民の災害に対する意識が風化しつつあると感じる。
やや達成した	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	50歳代	女	豪雨災害の復旧工事等、スピード感をもって取り組んでいる。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	50歳代	男	災害がおきてみないと災害に強いまちになったのかはわからないが、防潮堤などを見ると達成したような気がする。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	防潮堤は完成したが水門工事がまだ半分残っている。津波が来ないことを願っている。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	女	避難道路の整備がなされていない。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	50歳代	女	防潮堤も完成し、町民は安心して生活している。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	ハード面は進んでいると思われているが、震災で亡くなった方の祈りの場所や子供の遊び場等が未整備で早期の完成を期待している。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	60歳以上	女	避難訓練に参加したり自治会ごとに連絡網を作成したりしているが、自治会の役員への負担は大きい。連絡網でさえ携帯電話の番号の聞き取りの難しさもあり全ての人が協力的であるとは限らないと実感することがたびたびある。
やや達成した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	60歳以上	男	工事は終わっているがこれでよしいのだろうか？今度どのような災害がくるかわからない。
やや達成した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	60歳以上	男	防潮堤が整備されたものの、農村型のは手すり等が不十分。防潮堤からの避難道も充分なものと言えない。
やや達成した	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	男	ハード面の整備はかなり進んでいると思うが、被災地全となると分りかたがわる。
やや達成した	教育・福祉施設関連	沿岸北部	60歳以上	女	災害対策としては、防潮堤が作られたことが印象強く、その他、何がどう実践されているのか、自分自身の不勉強と相まってよく分からない。
やや達成した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	女	ハード面に関しては達成したと思う。学校での防災学習や訓練等も行われているが、その学びや経験をつなぐ活動についてはこれからの課題であると感じる。
やや達成した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	女	防潮堤もかさ上げも終了し安心して生活できるようになった。

区分	職業・所属等	地域	年齢別	性別	自由記載(理由)
やや達成した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	男	防潮堤やハザードマップなども、被災前と比べると確実にしっかりと整備されてきているが、世代も人も今後変わっていくと思うので、いつ起こるか分からない災害の為に、しっかり継承していかなければならないと感じる。
やや達成した	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	男	○防潮堤の整備等安全面が強化された。 ○学校教育における復興教育や防災教育の充実が図られており、自助や共助の意識高揚に繋がっている。 △ハード面の整備や教育関連等での取組が行われているが、震災に対する意識・記憶の風化が懸念される。今年初めの能登地震からも、常に防災への意識を保つことが重要である。
やや達成した	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	女	様々な点で安全なまちづくりは進められていると思う。一方で、地域の避難訓練の参加者の減少、震災を知らない世代の増加などにより、いかに震災の教訓を風化せずに語り継いでいか、魅力あるまちづくり、夢をもって自分の道を切り開いていける子どもたちの育成など、私たち大人が考えなければならぬことがたくさんあると感じている。
やや達成した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	男	工事の面などきちんと整備されている。防災意識が風化しつつあるのが課題。
やや達成した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	男	防潮堤も整備された後に、新たな浸水警戒区域を見ると、不安しかない。形は出来たが、それでは対策できないのであれば、達成していないのかも。
やや達成した	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	男	自治体の避難訓練に参加しているが、思った以上に参加者が多く、住民の災害意識が進んでいるように思えた。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	50歳代	男	防潮堤の建設はほぼ終わっているのではないかと。それでよしとは思わないが。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	40歳代	男	ハードもそうだが、地域住民向けの防災訓練を定期的実施することが必要だと思う。
やや達成した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	40歳代	女	独居高齢者や高齢者世帯の避難行動要支援者名簿の整備が進んでいる。
やや達成した	教育・福祉施設関連	沿岸北部	40歳代	女	警報が出たら少し遠まわりでも安全な道を通れるという選択できる道ができていて安心感はある。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	60歳以上	男	・津波に対するハード面は完了 ・住宅の移転も完了 ・一方で移転地も洪水被害区域となっており、避難のソフト面での訓練等が十分ではないと感じる。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	50歳代	男	自主防災組織が多数立ち上がり心強い。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	海岸沿いには防潮堤が整備され、三陸道路も山側に開通している。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	50歳代	男	風化が著しい。避難経路の周知徹底の継続、工夫が必要。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	女	今の状況だと、津波が来れば、又、同じ被害が出るのだろうかと思う。田老地区の高台の団地住宅は、残るのかもしれないが。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	前回調査(令和6年1月)とほぼ同じ理由のため
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	震災関係の工事は終了したと思われる。災害に強い安全な地域にするため高台に避難所の設置が必要と思われる。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	ハード面での工事は終了した。昔から言われてきたことだが、最終的に自分の命を守るのはソフト面だと思う。危険性に対する知識があり、その時に対応出来る事(津波に対しては遠くではなく高い所に逃げるなど)が、大事である。経験のない人に伝えるには、映像の活用を重点にしていけばいいと思う。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	温暖化による大雨災害が毎年の様におきている。堤防を越える限界付近の大雨が頻発して不安がたえない。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	60歳以上	男	防潮堤は立派になったが、高いので閉塞感がある(落書きが出来るといいと思う。)災害に強い安全なまちに対しては防潮堤から高台に行く道路の整備がまだ出来ていない。釣り人などよそから来た人への避難の告知や案内板など整備がなっていない。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	女	震災後のまちづくりはもう完成し終了している。ここ1年で何も変わらない。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	60歳以上	男	最近被災地区への住宅建築が見えている。建築許可が出ている事が不思議
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸北部	40歳代	女	久慈港湾口防波堤は国が1990年度に着工し2033年度までに整備が完了する予定ではあるようだが、それまでにまた大きな津波が来たらと思うと心配になる。まだいろいろ所で防潮堤を作っているが、10年以上も作業していて、いつ完成するか分からない所が何箇所もある。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	男	ハード面は災害に強い安全なまちになっていると感じる。ソフト面については、継続した訓練等が必要だと考えるため。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	男	防潮堤の整備や避難訓練など安全な町づくりがなされてきた。津波を経験していない若い世代が増えてきている。その世代への防災教育の重要性を実感させていきたい。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	男	防潮堤の整備はしっかりしたものがあるが、この一年間では変化がない。空き地の活用、インフラ整備等、災害に強いではなく、生活を営むのに強い町づくりが必要と感じる。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	50歳代	男	河川敷工事が多くみられるようになった。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	女	防潮堤が立派に整備されていると思う。津波避難訓練にも取り組んでいて、そこに住んでいる人たちが、積極的に参加されている。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸南部	60歳以上	女	ハード面は整ったと感じる。住民の意識を低下させない対策について継続して取り組むことが必要だと思う。市の中心部で被災した自分自身も少しずつ、防災への意識が低下しているのではないかと感じてしまう今日この頃。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	男	ハード面の整備は完了できていると感じる。しかし、災害想定の変更による対策は不十分な事があると思う。災害被害想定が大きすぎる事での戸惑いについて話題が多く聞かれる。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	女	道路整備や水門工事など進んでいるとは思いますが、新たに夏の水害についてはまだ進んでいないと思う。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	39歳以下	男	対策していると思うが、水害に関する対策、特に豪雨後の水路対策が進んでいないと思う。今だにコンクリートブロックが水圧で飛んでいく場所が存在している。

区分	職業・所属等	地域	年齢別	性別	自由記載(理由)
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	60歳以上	男	ハード事業は防潮堤などを含めて殆どの工事は終了しており、多くの村民ある程度の安心感を持っている。しかし、その安心感が油断につながることはないような、そして時間の経過とともに危機感が薄れてきているので避難意識の心掛けが益々大事になると思う。一年間の進捗状況に限ってみれば、全く変化がないと思う。
あまり達成していない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	60歳以上	男	高い防潮堤ができたけどそれだけ津波の避難訓練をしたほうがいいと思う。
あまり達成していない	教育・福祉施設関連	沿岸南部	40歳代	男	ソフト面の取組が限定された分野でのみ行われていて、とてももったいなく感じる。
あまり達成していない	教育・福祉施設関連	沿岸北部	40歳代	女	防災に力を入れていると感じるのはソフト面。ハード面は何か起こってからでないと対応してもらえない印象がぬぐえない。(国の方策もあるのでしょうか。)
達成していない	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	50歳代	男	東日本大震災を踏まえた対策は完了したものと思われるが、日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震に対するハード面の整備が必要と感じる。
達成していない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	60歳以上	女	観光客や児童の避難について、町や道のたてふだや案内板が少なく、外国語の表示も少ない。分かりやすく一目で理解し、状況に応じてすぐに行動できるようなまちづくりや避難経路・表示等をもっと進めるべきだと感じている。徒歩・自転車が増えてきているので、付随して取り組みをしなければと思う。
達成していない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	50歳代	男	県で発表した今後予想される津波の想定浸水域を確認したが、今日までに津波対策で整備してきた防潮堤をもってでも津波を防御できないみたいなので、その津波に対応できる防潮堤等を早急に整備して欲しい。
達成していない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	大船渡町は警報発令時に南北に避難する道は国道45号線しかないのだが、通行止めにする予定なので逃げ道が無い。新たな避難路を山側に要望しているが、費用対効果がないという理由で避難路が出来ない。多くの人々が渋滞の中で津波に飲み込まれたことをすでに忘れてる。

令和7年いわて復興ウォッチャー調査 自由記載集

発行

令和7年2月21日

岩手県 復興防災部 復興推進課

〒020-8570

岩手県盛岡市内丸10-1

電話 019-629-6935

【自由記載集:掲載にあたって】

- ・自由記載(理由)は、表現も含め、原則として原文のまま掲載しています。
(一部、誤字・脱字等の修正や企業・団体・個人名の置換えなど、表現をあらためています。)